

カドミウム及びホウ酸に関する取り扱い状況等

[カドミウム及びその化合物]

1 国内のカドミウムの輸入量、生産量、輸出量

(単位：t、小数点第1位四捨五入)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
生産量	2,188	2,171	2,310	2,108	1,881
輸入量	40	60	60	40	0
国内需要	1,377	894	728	501	421
電池	1,365	883	719	492	413
合金	1	1	1	1	0
その他	10	10	7	8	8
輸出量	1,100	1,493	1,379	376	360

出典：日本貿易月表及び日本工業協会調べ

2 ニッケルカドミウム電池の生産量及び輸出量について

(単位：百万個)

	2015年	2016年	2017年	2018年
生産量 ¹⁾	90	59	45	36
輸出量 ²⁾	64.3	36.3	23.5	16.7

出典：1) 経済産業省・生産動態統計

2) 財務省・通関実績

3 カドミウムの再利用について

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
ニッケルカドミウム電池回収量 (t)	761	821	796	959
再資源化率(※)実績 (%)	72	72	72	74

(※) 再資源化率 = 再資源化物重量 × 金属元素含有率 / 処理対象電池重量 (付属部品を除く) × 100

出典：一般社団法人 JBRC

4 国内におけるカドミウムのばく露状況、作業環境測定の結果
データなし

5 労働安全衛生法による規制状況

カドミウム及びその化合物は、特定化学物質障害予防規則（昭和 47 年労働省令第 39 号）において管理第 2 類物質に指定されており、局所排気装置等の設置、作業環境測定の実施（管理濃度 0.05 mg/m³）、健康診断の実施等が義務付けられている。

[ホウ酸]

1 国内におけるホウ酸の製造について

日本国内においてホウ酸の製造は行われておらず、全量を外国から輸入している。2010 年の輸入量は 111,514t、2019 年の輸入量は 44,446t、2020 年の輸入量は 24,148t である（財務省貿易統計より）。

2 国内におけるホウ酸の取り扱いについて

日本に輸入されたホウ酸はほぼ全量が国内で使用されており、ガラス繊維の材料となっている。ガラス長繊維は糸状、ひも状、クロス状に加工され、FRP（繊維強化プラスチック）等のプラスチック補強材、電気絶縁材、耐火材として用いられている。また、ガラス短繊維はグラスウールとして断熱材、吸音材に使用されている（独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構「マテリアルレポート（2012）」を参考）。